



浄土真宗本願寺派 小倉組

サンガ小倉

SANGA KOKURA SPECIAL ISSUE

2021 OCTOBER

10月

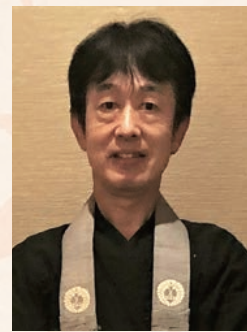
秋号

令和3年10月発行

「身を粉にする」って？

「恩徳讃」が教える闇

慈光寺／住職 柳原浩文



時代とともに日常生活から消えてゆく動作があります。たとえば、昨今タオルを「絞る」ことができない子供がいると聞きます。家でも学校でも雑巾がけをしなくなりしました。洗濯物を手で「絞る」こともありません。「絞る」動作が生活の中からどんどん減ると「絞る」という行為を表現する言葉にも実体感がなくなってゆきます。日本人が帯や禪（ふんどし）を「締め」なくなっているのですし、紐を「結ぶ」ことも少なくなりました。鉛筆を「削る」ことだってほとんどありません。ましてや刃物を「とぐ」機会など滅多にないでしょう。刃物どころかお米を「とぐ」ことを知

らない若者もいるというから驚きます。日常生活から動作が消え身体感覚が失われてくると、その言葉から派生した比喻表現にも実感が湧かなくなります。タオルを「絞れ」ない人は知恵やアイデアを「絞る」こともできません。紐をきちんと「締めて・結ぶ」ことができない人は、気持ちを引き「締める」ことも、人と縁を「結んで」いくこともできないでしょう。鉛筆を「削った」ことがない人には、身を「削る」ような努力はできそう

もありません。米を「とぐだ」ことのない人は、感覚を「とぐ」すますることができないかもしれません。これらは身体論が専門の明治大学教授・齋藤孝氏の指摘です。

お寺の法要は「恩徳讃」をうたって閉座することが慣例です。親鸞さまが深い宗教的境地から吐露されたお言葉。

【如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

師主知識の恩徳も

骨を砕きても謝すべし】

「阿弥陀如来の大悲の恩徳は身を粉にしても報ぜずにはいられません。お釈迦さまや導いてくださる祖師たちの恩徳も骨を砕いても感謝せずにはいられません」

かつて食材を粉にしたり砕いたりすることは生きてゆくための術であり、日常

的行為でした。その行為なくして自分たちの「生」が成り立たないほど当たり前の営みだったに違いありません。いまや調理過程をすっ飛ばして電子レンジでチンの時代。「粉にし」「砕く」という生活の術が日暮らしから消え失せた今、身を「粉にし」「骨を「砕く」程の報酬の意味が私に理解できるでしょうか。「名は体をあらわすというが、むしろ動詞は体をあらわす」とは齋藤孝氏の言。こういう視点で「恩徳讃」をいただいてみると、いよいよ自分と時代が抱える闇の深さを感じてしまいます。～南無阿弥陀仏～



皆様からのご意見・ご感想をお寄せ下さい。

連絡先

広報伝道部
古法寺

〒802-0004 小倉北区鍛冶町1丁目3-18
Tel.521-8654 Fax.521-2213

法座のご案内

2021年11月から 2022年2月まで

2021年11月・12月・2022年1月・2月の法要予定

11月

報恩講法要	永楽寺	12日(昼)・13日(昼)	昼13時半	高岡 昭信
報恩講法要	観應寺	12日(朝昼)・13日(朝昼)・14日(朝昼)	朝10時/昼13時半	舟川 宏顕
報恩講法要	永明寺	13日(朝昼)・14日(朝昼)	朝9時半/昼13時半	赤井 智顕
報恩講法要	善龍寺	14日(昼)・15日(昼)	昼13時半	松尾 得晃
報恩講法要	古法寺	17日(昼)・18日(昼)	昼13時半	寺田 教昭
報恩講法要	西蓮寺	19日(昼)・20日(朝昼)・21日(朝昼)	朝10時/昼13時半	山下 義円
報恩講法要	慈光寺	20日(昼)	昼13時半	住 職
11月の法要	明恩寺	20日(昼)・21日(昼)・22日(昼)	昼13時半	住職・法務員
報恩講法要	正行寺	26日(昼夜)・27日(昼夜)・28日(昼)	昼13時半/夜19時半	岡 智徳
報恩講法要	安楽寺	26日(昼)・27日(朝昼)	朝10時/昼13時半	若林 真人
報恩講法要	正善寺	27日(昼)・28日(昼)	昼13時半	伊藤 元

12月

報恩講法要	萬徳寺	1日(昼夜)・2日(昼夜)・3日(昼夜)・4日(昼)	昼13時半/夜19時半	利井 唯明
報恩講法要	浄教寺	11日(朝昼)・12日(朝昼)	朝10時/昼13時半	濱畑 慧懐
除夜会	永明寺	31日	夜21時	
除夜会	西教寺	31日	夜22時半	住 職
除夜会	西宗寺	31日	夜23時	住 職
除夜会	正善寺	31日	夜23時	住 職
除夜会	永楽寺	31日	夜23時半	住 職
除夜会	浄教寺	31日	夜23時45分	住 職

2022年(令和4年) 1月

元旦会	正善寺	1日	朝1時	住 職
元旦会	萬徳寺	1日	朝6時半	住 職
元旦会	浄教寺	1日	朝8時	住 職
元旦会	永楽寺	1日	朝8時半	住 職
元旦会	安楽寺	1日	朝10時	住 職
報恩講法要	西顕寺	13日(昼)	昼13時半	護山 智孝
報恩講法要	明恩寺	14日(昼)・15日(昼)・16日(昼)	昼13時半	毛利 明法
報恩講法要	西宗寺	15日(昼夜)・16日(昼夜)・17日(昼)	昼13時半/夜19時半	清胤 弘英

2022年(令和4年) 2月

報恩講法要	西教寺	17日(昼)・18日(昼)・19日(昼)	昼13時半	池信 秀見
報恩講法要	善行寺	17日(昼夜)・18日(昼夜)・19日(昼)	昼13時半/夜19時半	舟川 宏顕



- 本年度は『小倉組報恩講三寺参り』(※スタンプラリー等)は、新型コロナ感染拡大防止のため中止となりました。
- この『法座のご案内』は8月時点での各寺法要予定を掲載しております。
10月発行時点での新型コロナ感染拡大の状況により法要が中止になる場合がありますので、ご不明な点は各寺へお問い合わせください。